

知事コメント

令和4年1月27日(木)

去る1月25日、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部が開催され、新型コロナウイルス感染症の感染状況や医療提供体制・公衆衛生体制に対する負荷の状況についての分析・評価を踏まえ、感染の再拡大を防ぐ観点から沖縄県に対するまん延防止等重点措置が2月20日まで延長されました。

沖縄県疫学統計・解析委員会の分析によりますと、沖縄本島地域の実効再生産数は0.88で、県全体の新規陽性者数は減少傾向が見られています。しかし、年齢階級別の新規陽性者数の推移を見ると、20代から30代は減少傾向がある一方、60代以上の高齢者層は増加傾向にあり、1月6日からの1週間に622人、全体の7.0%であったのに対し、直近1週間(1月20日～26日)では1,342人、全体の17.1%の割合を占めています。

入院を要する重症・中等症の患者についても増加し続けており、1月6日時点の重症・中等症患者は75人であったのに対し、1月26日時点では270人となっています。新規陽性者が減少しなければ、病床のひっ迫は長期化、深刻化していきます。

県としては、全ての年代における感染再拡大を防止し、医療提供体制を維持すること、そして、高齢者等への感染拡大を抑制して重症化例を減少させること、さらに、社会機能を維持することを目的に、本日、対策本部会議を開催し、まん延防止等重点措置の延長にともなう沖縄県対処方針変更を決定いたしましたので、主な内容をご説明いたします。

県民の皆様におかれましては、引き続き、混雑している場所や感染リスクの高い場所への外出を控えてください。県外及び離島との不要不急の往来については、自粛をお願いします。特に、まん延防止等重点措置区域との往来は自粛をお願いします。

会食については、同居家族やいつも一緒にいる方と4人以下・2時間以内で行ってください。当然、営業時間短縮要請に応じていない飲食店の利用は厳に控えてください。

オミクロン株に対しても、基本的な感染防止対策は有効です。引き続きマスクの着用、手洗い、換気の徹底をお願いします。なお、マスクは不織布のほうが推奨されます。

沖縄県への来訪を予定されている皆様におかれましては、政府の基本的対処方針に従い、「対象者全員検査」を受けた方や、受験・受診・仕事等の必要な場合は除き、まん延防止等重点措置区域など、感染拡大地域からの来訪は、お控えください。

飲食店に対する営業時間短縮要請についても延長させていただきますので、引き続きご協力下さい。

事業者の皆様におかれましては、業種別ガイドラインを遵守し、従業員の体調管理や感染防止対策の徹底をよろしくお願いします。

特に社会機能の維持に必要な事業者におかれましては、事業の特性を踏まえ、BCP(業務継続計画)の再点検を行い、テレビ会議や在宅勤務なども活用して事業を継続していただきますようお願いいたします。

高齢者施設等における従業員や利用者の感染も増加しています。改めて施設内の感染対策を再確認・強化いただくとともに、従事者向け定期PCR検査へ積極的に参加してください。また、感染拡大の状況を踏まえ、利用者及びその家族に対して、居宅での対応が可能な場合は、一時的に代替サービスへの切り替え等により、できる限り通所サービスの利用を控えるなど、ご協力を呼びかけてください。

まん延防止等重点措置の期間は延長されましたが、感染者の減少及び医療体制の改善が想定以上に進み、人口10万人あたりの新規陽性者数が200人を切り、病床使用率も50%以下となった場合は、圏域毎に措置期間の前倒し解除も検討いたします。

県としましても、感染の急拡大を抑制し社会機能を維持するため、様々な取組を強化してまいります。

軽症者用宿泊療養施設について、現在、県内各地に9施設930室を確保しているところですが、2月1日から那覇市内に1施設250室を新たに開設いたします。これにより、合計10施設1,180室となります。引き続き新たな宿泊療養施設の確保に向け、調査を続けてまいります。

検査需要の高まりにより、PCR検査及び医療機関へのアクセスが増加し、陽性者の早期把握や速やかな健康観察等のケアに繋げることに支障が生じておりました。検査受検のために発熱外来を行う医療機関に患者が集中し、救急医療への負担が増加しています。また、濃厚接触者となった

エッセンシャルワーカーの自宅待機解除のため、抗原検査キットを用いた検査についても需要が高まっています。

このような課題に対応するため、県庁内に「抗原定性検査・陽性者登録センター」を設置し、昨日から運用を開始しております。同センターでは、症状のある患者自らが実施した抗原検査キットの結果に基づき、オンライン診療により、迅速に確定診断や発生届出を行うことで、陽性者の早期ケアに繋げる体制を構築しました。

また、県民向け無料PCR検査の実施期間を、2月28日まで延長いたしましたので、感染の不安がある方は、医療機関ではなく、民間の検査センターをご活用下さい。

オミクロン株に対しても、ワクチンの重症化予防効果や発症予防効果は有効です。ご自身のためにも、医療機関の負担を軽減するためにも、積極的にワクチン接種をご検討下さい。県では、北部、中部、那覇に広域ワクチン接種センターを新設し、3回目接種を推進してまいります。今週土曜日から受付を開始いたします。県のホームページでは常時案内しておりますし、明日の朝刊にも広告を掲載いたします。1回目・2回目接種についても、引き続きご予約を受け付けてまいります。

高齢者施設等における集団感染が増加し、施設内で療養している陽性者は269人にのぼっている状況をうけ、高齢者施設等に対する支援体制を強化し、必要な医療が届けられるよう医師会や福祉関係団体等と連携を図ってまいります。

これから旧正月や十六日祭、トウシビー（生年）祝いなど、季節的な行事や連休で人が集まる機会が増えることも想定されます。

行事を開催する際には、体調不良者は参加しない・させないことの徹底や、飲食を伴う場合は同居家族等と4人以下・2時間以内で実施するなどの工夫をお願いします。

県民一人ひとりが感染防止対策を徹底するだけでなく、それぞれの事業者においてBCPを実践し、社会全体でその機能維持に取り組む必要が生じています。

県民、事業者の皆様と一丸となってこの難局を乗り越えてまいりたいと思いますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。